

ハーバーハウス 株式会社

DX宣言書

2024年8月2日
ハーバーハウス 株式会社
代表取締役社長 石村 良明

□ 経営理念(ハーバーハウスグループ理念)

すまいを変える×みらいを変える
すべての人へ、地球にやさしい、安心・安全な住空間を提供することで、持続可能な社会の実現に貢献します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタルマーケティングを駆使し、顧客ニーズのリアルタイムな把握、迅速な戦略立案を可能とし、変化する市場に柔軟に適応する経営体制・組織体制を構築します
- ◆ 上記により、顧客ニーズをより迅速かつ的確に満たし、顧客満足度の向上と新たなビジネスチャンスの創出につなげ、持続的な成長を実現します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年3月)

戦略 「社内データの分析・活用の定着化、および現場管理の省力化」

- 施策
- ・ 顧客管理システムとデータ解析ツールの連携によるデータ分析を行い、顧客ニーズをリアルタイムに把握、効果的なマーケティング施策立案を定着させ、迅速な意思決定ができる体制を実現
 - ・ ツール活用の定着化を図るため、主に幹部層の従業員を対象とし、データ解析ツールの活用方法について社内研修を実施
 - ・ 収集・分析したデータを基に、新商品や新サービスの開発・導入を推進
 - ・ 現場管理においては、施工管理ツールとモバイル端末活用による業務効率化推進、および協力業者との連携強化

➤ フェーズ2(2025年4月 ～ 2026年9月)

戦略 「営業促進ツールの活用による提案手法の効率化」

- 施策
- ・ 営業促進ツールを活用することで、営業活動の更なる効率化を推進
例：リード顧客獲得・育成の各施策を自動で実施(顧客の興味・関心に合わせたメールの自動送信等)
 - ・ 営業促進ツールに関し、ユーザ向けマニュアルの整備や研修会の開催、導入効果の検証を行うことで、社内の活用定着化を促進
 - ・ 上記施策を通して、より付加価値の高い提案活動ができる体制を構築

➤ フェーズ3(2026年10月 ～ 2027年9月)

戦略 「社内保有データの一元管理体制の構築、データ活用高度化によるグループ全体でのDX実現」

- 施策
- ・ グループのあらゆるITツールに蓄積されるデータの一元管理を実現
 - ・ 一元管理されたデータを更に分析・活用することで、データ活用的高度化・全体最適化を推進
 - ・ 上記施策を実行し、グループ全体の業務効率化・生産性向上を推進することで、顧客満足度の向上を図り、更なるビジネスチャンスの創出、グループ全体の持続的な発展を実現

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長をDX推進における実務執行統括責任者とします
- ・ DX推進委員会が中心となって、各事業部のDX実現をリードします

□ DX推進目標(※)

- ・ 従業員一人当たりの利益額 : 10%増 (～2029年7月)
- ・ 営業活動の効率化による新規リード顧客の商談化率 : 10%増 (～2029年7月)
- ・ リモート現場検査実施率 : 90% (～2029年7月)

(※)引用:ハーバーハウス株式会社DX戦略2024

https://www3.herbarhouse.jp/contents/wp-content/uploads/2024/01/herbarhouse_dx_1.pdf



第四北越銀行